

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	壬生こども発達支援センタージニアス		
○保護者評価実施期間	R8年2月1日		R8年3月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	24 (回答者数)	20
○従業者評価実施期間	R8年2月1日		R8年2月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6 (回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	R8年4月10日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・計画に基づき支援内容を考え行っている。	・アセスメントをしっかりと行う。 ・ご家族の話の中から家庭での様子やお考え等の情報を得る。	・より生活が楽しく過ごしやすいようになるように本人の思いをしっかりと聞いていく。 ・職員間の情報共有。 ・本児の現状の確認、支援内容の確認や共有、支援の手立て等をリアルタイムで検討する。
2	・各種イベントやお出かけデイのような外出を企画している。	・興味関心を引く内容を設定するようにしている。 ・学びや体験ができるようにしている。	・法人の強み(藍染め、乳児期～高校、就労へと一貫した体制)を活かした活動の提案。 ・地域に関連した活動に繋げる。
3	・安心・安全な場所の提供。	・話しやすい関係性をつくり、共感した対話を意識している。 ・何気ない会話の中から情報を得ること。 ・関係する機関との情報共有。	・ご家族の状況の把握。 ・定期的な情報収集や支援方法の確認。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・保護者同士の交流の場が少ない。	・個別療育であること。	・親子イベントの開催。 ・研修等を案内する。
2	・各種マニュアルや避難訓練等の周知が薄い。	・玄関に掲示しているが、周知されていない。	・モニタリング時に提示する。 ・年度始めにメール等で通知する。
3	・事業所内のこども同士はイベント等で交流があるが、地域の他のこどもとの交流活動の機会は少ない。	・法人内のイベントは他市で開催のため地域との交流があるが、事業所内児童間での交流になっていることが多い。	・法人のお祭りを体験イベントとし、事業所内外の児童との交流が持てるようにグループ参加を企画して交流の場を作る。